



No.39 2020.7.20<sup>発行</sup>  
群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報  
<https://suirantaiikukai.com/>



## 伝統校四校の応援部・応援団が集い、演舞を披露する「群馬四校応援団演技発表会」

この度、翠巒体育会報の執筆機会をいただきました高崎高校106期生の武藤靖秀と申します。在学時には応援部に所属し、第五十五代主将を務めさせていただきました。社会人となり群馬県に戻ってきてからは、現役生の活動にも関わらせていただきており、そろそろ五年が経ちます。

もう十五年ほど昔のことになりますが、高崎高校応援部の下級生だった頃、私は一時期「伝統長」という役職を務めていました。「伝統長」といっても、校歌斎唱の際、前奏として「伝統よ、さらに栄えあれ」と独唱する役職です。

伝統よ、さらに栄えあれ。当時から私はこのフレーズが好きでした。普通、応援部といえば「押忍」の言葉が有名で、なにかに寄稿する際は末尾に「押忍」と記すのですが、現役生当時、私はたいていの場合、代えて「伝統よ、さらに栄えあれ」と記していたものです。

伝統というのは、過去から脈々と受け継がれてきた規範や習俗、または思想などを指すのであって、だから伝統を使って例文を作れば、「伝統を受け継ぐ」とか、「伝統を大切にする」とか、「伝統を守る」といったものになるでしょう。高崎高校生あるいは高崎高校OBにとっては、校歌によって馴染まれてごく自然に感じられてしまうところですが、伝統という単語に対して「栄えあれ」という述語の受けは、改めて考えるとひどく新鮮な活用に感じます。

なにか新しいことができないか。コンクリートの壁で囲まれたほとんど正方形の狭い部室のなかで、現役生の頃の私たちはなんども会議をしたものです。ただしそれは当然ながら、伝統として受け継がれてきた様々なもの、放棄してしまうための会議ではありませんでした。どうしたら、長年継承されてきた応援部の活動を、ますます発展させ、よりいっそう誇りあるものにできるか。そういう会議でした。結果として当時私たちが試みたのが、野球応援の様式変更だったり、野球部以外の運動部への応援機会の拡充だったり、あるいは普段の練習における工夫だったりしました。

こうした現役生による姿勢は、まさにそれ自体が伝統であるように、脈々と継承されているようです。それを間近で再確認できたことが、私が社会人OBとして現役活動に携わるようになり、もっとも嬉しく感じたことでした。一口に「現役生」といっても、各代ごとに個性があって、応援部活動において重視する点も様々でした。同じ代のなかでも、生徒によって意見も様々で、彼らの議論を傍で眺めているのは非常に楽しく、また頼もしく感じる機会でした。

受け継がれたものをそのまま後代に受け渡すのではなく、伝統を伝統として尊重しつつ、よりよいものに発展させていくという姿勢は、校歌に歌われているとおり、高崎高校の誇るべき特質であるよう

に感じます。

さて、「伝統よ、さらに栄えあれ」といえば、応援部における近年でもっとも大きな発展は、おそらく「群馬四校応援団演技発表会」の開催でしょう。五年ほど前から、高崎高校のほか、前橋高校、太田高校、桐生高校の伝統校四校の応援部・応援団が集まり、年に一度、合同で演技発表を行っているものです。もともとは、太田高校と桐生高校の二校が合同発表会を行っていたもので、各校OBの交流から始まり、平成二十七年度よりいまの四校合同のかたちでの発表会が始まりました。各校がステージ上において、順番に自校の応援演技を披露する形式で、各校の特色豊かな応援を楽しむことができるイベントです。

平成二十七年度には、高崎高校が初めて幹事校となって群馬四校応援団演技発表会を執り行いました。私も微力ながら、OBの一員として開催のお手伝いをさせていただきました。諸先輩方に比べれば本当にささやかなお手伝いではあっ



たのですが、仕事終わりに何回も何回も打ち合わせを行い、本番前に会場を下見してイベントの進行を計画し、現役生と一緒に演技内容や曲順について話し合ったり…、まるで現役当時に戻ったかのような心持でした。

ところで、本欄を読んでいただいている皆様のなかには、校歌翠巒リーダー以外の応援部の演技をみたことがないという方も多いのではないかと思います。むしろ、高崎高校応援部が練習している曲目は、普段人前では披露しないもののほうが多くあります。

歌形式の演技として、第二應援歌「敵軍」、生徒会歌「天行く翼」、凱旋歌「富士の白雪」、「数え歌」。拍手形式の演技として、「攻撃の拍手」、「撃滅」、「拍子」、「勝利の舞」、「実践リーダー」など。特に拍手形式の演技は、主将、副主将、統制長の幹部三役の三人リーダーが必須の演目が多く、部員減少の近年においてはなかなか披露できないのが残念です。

應援としての性質上、高崎高校生を下支えする活動の多い應援部ですから、なかなか主役として舞台に立つことは多くありません。そのこと自体にもちろん不満はないわけですが、何十年も受け継がれてきたこれらの演技を、広く披露する機会がないのは大変残念なことでした。群馬四校應援団演技発表会においても、これらすべての演目を披露できているわけではありませんが、毎年少しずつ演目を変えて広く披露させていただいています。特に私にとって思い入れが深いのは、「撃滅」です。主将、副主将、統制長の幹部三役のみで行う唯一の演技で、華やか

さよりも静けさが魅力の演目です。三人が並んで演技するのですが、中央で数歩前に出て演技する主将からは、他の二人がまったく視界にはいらず、にもかかわらず三人の所作が揃っていないと見苦しくみえてしまう高難易度の演目です。これが歌形式や拍子のあるものならばともかく、「撃滅」は決まったリズムに乏しく、とにかく所作をあわせるのが難しいのです。何度も繰り返し繰り返し三人で練習し、まさに阿吽の呼吸で演技できるようにならなくてはなりません。部員数や完成度の関係で、群馬四校応援団演技発表会でもいまだに一度しか発表できていませんが、また披露させていただくことができた際には、皆様方にも、ぜひご覧いただければ幸いです。

また、群馬四校応援団演技発表会の見どころは、特色ある四校が同じ舞台に居並ぶことでもあります。他校の応援様式をみることで、改めて自校の応援の在り方が相対化され、その特徴についての理解が深まるという側面もあります。どの応援部・応援団も「伝統」を重んじる態度は共通しているところです。しかし、一校のみの狭い世界にいると、どうしても自分が教えられてきた「伝統」を絶対視してしまいがちです。特に応援団という文化は様々な文脈を持ち、様々な人が独自の解釈を持っています。押忍という挨拶にしても、それぞれの人がそれぞれの思い入れを持っています。

伝統というものを、ただ守り、ただ継承していくことがすべて、という風に捉えてしまえば、当然ながら應援団という文化は固定的で、かつ排他的なものとなってし

まうでしょう。しかし、清流も淀めば濁り腐るもので、校歌に歌われるセルリアンブルーの烏川は、常に高崎高校生の傍らを流れ続けてきましたが、流れる水それ自体は、常に新鮮で変わり続けています。高崎高校応援部の伝統も同様でしょう。何十年も変わらぬ伝統は、三年ごとに変わり続ける現役生たちによって、担われ続けてきました。それこそが、「伝統よ、さらに栄えあれ!」という精神だと私は思います。

舞台に並ぶ四校の姿は、団旗の色から、部員たちの装いから、そして披露される応援の様式まで、実に多種多様です。互いに互いの応援の在り方に敬意を表し、各校の歴史に理解を深め、良いところを吸収しあい、いっそう自校の「伝統」を栄えあるものとするための一助としたいところです。

しかし、群馬四校応援団演技発表会も、大変残念ながら、今年度は開催中止となってしまいました。本原稿執筆時点では、群馬県高等学校総合体育大会が中止となり、野球選手権大会についても不透明な状態にあります。社会人になった私たちにとっては、毎年繰り返し開催された行事ですが、現役生たち、特に高校三年生にとっては文字通りかけがえのない大会です。この度の新型コロナウィルス感染症に伴う様々な大会の中止は、応援部現役生にとって、自身のものとして、また応援する運動部員たちのものとして、二重の悲しみを伴うものです。

應援部OBとしては、いまの應援部には高校三年を除くと、一名しか現役部員がないために、今春の新入生勧誘は部の存続かけたものでした。ですが、本原稿執筆時点では、いまだに学校が始まつてもいい状況です。新入生にアピールするための舞台も、軒並み中止されています。考える限り最大の逆境ではありますか、きっと運動部はみな同じ困難のなかでしょう。こんなときこそ、應援部は精神的支柱となって、高崎高校運動部を盛り上げていってほしいと思います。OBである私も、微力ではありますが、現役生に力を貸し、共にこの事態を乗り切っていきたい所存です。

さあ、辛いときこそ、声を合わせて歌おうでありませんか。

伝統よ、さらに栄えあれ。



## 特別寄稿

# 「高高生よ、胸を張れ」

校長 加藤 聰(78期)

それは、卒業式を翌週に控えた2月27日のことでした。安倍首相が、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、全国の小中高校の休校を要請しました。

当日夜の上毛新聞の取材に、「備えあれば憂いなし」ということだろうが、唐突でびっくりしている…」と答えました。

その後、感染拡大防止に努め、時間を短縮して卒業式・入学式を行いました。また、学校の臨時休業は、4月中旬に緊急事態宣言が出されたこともあり、結果として5月末まで続きました。

そして、5月に入って感染者は減り始めて緊急事態宣言も解除され、6月1日から学校の授業が再開されました(当初は生徒を2つのグループに分けての1日おきの分散登校)。校長として、オンライン授業の導入等の学習環境の整備を心がけましたが、部活動はどうにもなりませんでした。

何せ、大前提が活動の自粛であったからです。その間、春の選抜高校野球大会及び夏のインターハイの中止が決定し

ました。

もし、自分が現役の高校生であったなら、やり場のない気持ちを大いに持て余していたと思います。

私は散歩を日課としています。乗附町に住なので、河川敷もしばしば歩きます。

休業期間中、最初のうちは個人で、感染者が減ってきてからはグループで、それぞれのトレーニングに取り組む高校生をだんだん見かけるようになりました。彼らを見かけると、心の中でエールを送っていました。

さて、学校が再開され、感染拡大防止を第一義に考えるという前提のもと、部活動も再開されました。また、代替の大会開催の気運も高まってきました。

これまでに多くのアスリートが、いろいろなメッセージを発してきました。以下、2人の言葉を紹介します。

突然、目の前から夢や目標がなくなつた時。君は何を思つただろうか? 真剣であ

ればあったほど、絶望や虚無感を覚えただろう。でも、これだけは言える。それは君が本当に真剣だったからだ。絶望を目の前にした今は、本当は君たちにとって一番大切なことを知る時間もある…中略…だからこそ、今は真剣さを失うな、そしてあきらめるな。

(2008北京五輪陸上男子400メートルリレー銀メダリスト末續慎悟さん(39)による寄稿から。5/3付読売新聞より)

(東京五輪の1年延期を受けてのインタビュー。卓球女子伊藤美誠選手(19)の言葉)

来年、自分がどれくらい強くなっているか、想像できないくらい楽しみ。トレセンで練習ができず、いつ試合ができるか分からないけど、できることをやってしっかり過ごしている。(5/10付日本経済新聞より)

説明はいらないと思う。2人の言葉を高高生にエールとして贈る。

# 水泳部 青春の絆

KIZUNA 新藤 洋一(81期)  
水泳部OB会立ち上げ総会

本誌前号で翠巒体育忘年会の報告(77期島崎)にあるように、この忘年会がきっかけとなり、水泳部のOB会が結成されることになりました。その後5名の準備委員が中心になり、OB会発足に向けて動き出します。

まずは名簿作り。かつては運動部ごとの卒業生の名簿があったようで、54期~87期までの名簿のコピーが手に入りました。当然元データはありません。この名簿と高々

の卒業生名簿(3年に1回発行)を付き合わせて、一人一人手入力を行いました。

故人や住所不明の人を除いて、案内を郵送出来る150名ほどの名簿が出来上がりました。

88期以降のOBについては、八方手を尽くして、103期~117期の名簿が手に入りました。総勢で220名ほどです。

これらのOBに対し郵送するのは以下のもの。

- ・翠巒体育

- ・OB会発足の挨拶と説明

**内科・皮膚科・泌尿器科・外科  
いわい中央クリニック**  
CLINIC  
院長 神保 裕之(スキー・スケート部83期)  
診療時間 AM9:00~12:30 PM3:00~6:30  
休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日  
安中市岩井2465-1 ☎ 027-381-2201 電話予約可

  
産科婦人科  
館出張 佐藤病院  
院長 佐藤 雄一  
スキー・スケート部OB(86期)  
〒370-0836 群馬県高崎市若松町96  
TEL.027-322-2243 / FAX.027-322-8248  
<http://www.sato-hospital.gr.jp/>

  
**沼野クリニック**  
内科・胃腸科・外科・皮膚科・美容外来(予約制)  
院長 沼野 藤雅(スキー・スケート部89期)  
診療時間: AM9:00~12:30 PM3:30~6:30  
休診日: 日曜・祝日 皮膚科・美容外来は木曜のみ診察  
高崎市柳川町15番地 ☎ 027-322-2926

- ・総会および懇親会の案内
- ・総会の議案書(規約、予算、役員人事等)
- ・総会出席確認の返信ハガキ

「翠巒体育」は、水泳部には毎年30部準備してもらっていましたが、今回は10倍の300部をお願いしました。その他の資料は、手分けをして作成・印刷を行いました。

この時点できつた費用は個人が立て替えています。年会費はあまり強気にはなれず、一口2000円としました。「100人入ってくれれば」との願いを込めて、役員総出で発送作業を行いました。

9月21日土曜日、高崎駅東口のエテルナ高崎にて、設立総会および懇親会が開かれました。81才になる56期の先輩2名を含め、約30名が参加。議案はすべて可決され、晴れて「高崎高校水泳部OB会」が発足しました。

そのまま懇親会に移行。年代ごとのテーブルで、昔話に花が咲き、各々のスピーチも大いに盛り上がりました。そして翌年の再会を誓い散会しました。

現時点で、入会してくれた方は70名ほどですが、大口の年会費を入れてくれた方が多数おり、健全な財政でスタートすることが出来ています。

これまで、現役生への激励金や食事会などは、数名の有志が個人負担したり、安居酒屋の新年会費に上乗せをしたりして賄っていました。OB会の運営を続けていくことで、みんなで負担出来ることになります。そ

して、その報告として「翠巒体育」を会員の手元に届けることも大切な仕事になります。220名に送った入会案内のうち、入会を断った方は40名ほどで、残りの100名は態度保留ということになります。これらの方に再度案内を出し、会員を増やしていくことを思います。また、案内を出せていないOBにもアプローチしていきます。

残念なことに、コロナ騒ぎで今年の総会および懇親会のめどが立っていませんが、役員が中心となりOB会を盛り上げていこうと頑張っています。



### KIZUNA 湯浅 潔(56期) 高高水泳部OB会発足によせて

念願であった水泳部OB会が発足し、昭和32年卒業のOBとして大変喜ばしいことだと思います。私は昭和29年に高崎高校へ入学し、すぐに水泳部に入りました。当時は私と成田匡伯君(背泳、卒業時キャプテン)の二人だけでした。

二人は高崎第三中学水泳部で、前年に県大会で個人、団体共に優勝していたので、高高へ入学したら、水泳部へ入ることが夢でした。後日、伊藤晴夫君(後に千葉大医学部教授)小此木勝君(マネージャー)が入部して居ります。

小此木君はマネージャーとして予算獲得に力を發揮されました。前年までは偉大

なる大先輩清水健さんの活躍で、県大会で優勝しています。この場を借りて清水さんの話をしたいと思います。

高高3年生の時、全日本大会で100m自由形で全国2位でした。当時のタイムは60



秒2でした。その後立教大学へ進み4年生の時メルボルンオリンピック出場を果たすことになりました。私事ですが、中学時代は自由形50m、100m専門でした。高高へ入学し水泳部に入り、当時のキャプテン田胡さんに、自分は平泳ぎをやりたいと申し出ると、50m競争をしようということになり行いました。私が田胡さんに勝って了解されました。そのときの水泳部は自由形不足であったと思います。

夏合宿の時から立教大学のコーチが2名参加されました。そのうちの1人は平泳ぎが専門だったので、平泳ぎを指導され実行しました。関東大会には3年連続で出場出来ました。

この時代バタフライが盛んになり、泳ぎを楽しみました。水泳部顧問の先生は矢島先生(日本史)でした。大変お世話になりました。

バタフライが正式種目になったのは1~2年後だったと記憶して居ります。私は4種目得意でしたので、混合メドレー 200mが正式種目になっていればと後になって思いました。

時代の流れで高崎にもスイミングスクールが出来て、群馬のレベルが上がり全日級の選手がぞくぞくと生まれました。後輩のコーチの小茂田さんへの時代へと続きオリンピック選手を輩出することになりました。

思い出はつきませんが、高崎高校水泳部の益々の発展と皆様のご健勝を願い、終わりにしたいと思います。



テニス部OB(84期)

**山口 正仁**

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!  
ブルデンジャル生命保険株式会社 品川第二支社  
TEL 03-6682-4440 携帯090-9309-9492

芸大美大美術系高校 受験予備校 **高崎美術学院**  
高崎市岩押町35-12 ☎027-322-6548  
<http://www.art-takabi.com>

社会人のための  
美術教室 **アートフォーラム高崎**  
高崎市岩押町31-11 ☎027-326-5585  
<http://www.art-takabi.com/artforum>  
代表 北村 真行 (テニス部85期)

テニス部OB(91期)

**原 寛**

カネト水産 つりばり・虹鱒料理・手打ちそば  
高崎市倉渕町川浦3900-156 ☎027-378-3132  
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



**KIZUNA 山岸 祐二(79期)**  
**水泳部OB会発足に当たって**

こんにちは。翠巒体育会水泳部幹事、79期の山岸です。令和元年9月21日、水泳部OB会総会が行われ、待望の水泳部OB会が正式に発足致しました。総会では大先輩である56期の成田さん・湯浅さんを筆頭に島崎OB会長(77期)の元、年齢を忘れて楽しい時間を過ごさせて貰いました。過去にも水泳部OB会はあったのですが、近年では小規模な活動のみで、諸先輩方が構築して頂いた礎を継続する事が叶いませんでした。

思い起こせば我々が現役であった約40数年前、翠巒会館で合宿を行えば、ちょっと怖い(後輩思いの)先輩が合宿所に訪れ檄を飛ばされたり、大量の肉の塊の差し入れ頂き、我々の底無の腹を満足させて頂いたりしておりました。当時は事情も分からず、有難いオジサン達がいるものだと思う程度でしたが、今考えますと此れこそ初代の水泳部OB会の諸先輩方だったのです。知らなかつた事とは申せ、改めて感謝申し上げます。



今回OB会を復活させようと思い立ちましたのは、翠巒体育会の役員会に出席する度に他の運動部は現役生を大切にし、更にOBの皆さんのが活発に交流している様をまじまじと見させて貰ったからです。一方水泳部では正月に一部のOBが集まり懇親を深めるのと、夏の高校総体明けに現役生を焼肉に招待し、交流を深める位でした。折角伝統ある高崎高校水泳部で繋がった縁を大切にしないのは勿体ない、と言う思いか

ら実行委員の皆さんと立ち上げた次第です。しかしながらいざ立ち上げようとしますと、「そもそも水泳部の名簿が無い」「案内を出そうにもお金が無い」「総会のやり方が解らない」等、無い無い尽くしの出発でした。その様な出だしかつて、当日の総会では皆さん時間を忘れて語り合い、次回を約束して解散しました。

今後はこの繋がりを大切にし、皆さんのお力を借りしながら、未来志向の高崎高校水泳部OB会になれば良いと思っています。



**KIZUNA 石田 由和(83期)**  
**OB総会に参加して**

昨年9月21日(土)に開催された高々水泳部OB会の設立総会に参加した。

現在、私は、中国上海で現地日系企業に勤務している。上海へ単身赴任して2年7か月になる。これまで、水泳部OBの方々との交流はほとんどなく、6年ほど前に一度、高々同窓会の新年会で一部の方にお会いしたほか、同期(田中君、高橋(直)君)や1年上の先輩(木暮さん)と数回、居酒屋で呑んだくらいである。そんな中、昨年7月、設立総会が開催されるとの情報を木暮さん、田中君経由で入手。さらに、案内状が届いたと、自宅(姫路)の妻から連絡があり、早速、妻を介して出席を連絡するとともに、1泊3日の一時帰国を計画した。

開催前日の9月20日(金)、一日の仕事を終えた後、空港へ向かった。フライトは午前2時発のLCC。初めて利用したが、予想通りほとんど眠れずに、21日(土)朝6時に成田空港へ到着。その後、予めネットで見つけておいた上野駅近くのネットカフェへチェックイン。2時間程度の仮眠をとった後、風呂で汗と疲れを流して高崎へ向かった。

会場は、高崎駅前のエテルナ高崎。どんな人に会えるのかと、ワクワクしながら向かった。総会と懇親会、さらに、近くの居酒屋で開かれた二次会にも参加し、久しぶりに会う同期の面々、お会いするのは卒業以来となる諸先輩方を含め、二十数名のOBの方々と、とても楽しく交流させていただいた。

まだまだ話し足りず、名残惜しい気持ちの中、深夜に散会となり、当日は駅前のビジネスホテルで1泊した。

翌日22日(日)は、成田空港を17時に飛び立ち、上海の住まいに帰宅したのは22時過ぎであった。

今回、水泳部OB会への参加はもちろんの事、上海から高崎への弾丸ツアーハイアットであったが、とても楽しく良い経験になった。毎回は難しいと思うが、是非とも、またOB総会に参加し、旧交を温めたい。



**KIZUNA 糸井 良弘(79期)**  
**水泳部の思い出**

昭和52年の4月に私が水泳部に入部したきっかけはリハビリのためでした。

中学3年の正月に友人と徹夜で初日の出を見に行き、その時の寒さで風邪のウイルスが足腰の筋肉に残り、中学卒業まで歩くのに支障が出る状態だったのです。高校に入学したら体育会に入部希望でしたが、満足に歩けない状態ではそれも叶わず、泳ぐことならできるという安直な思いで水泳部の門をたたきました。

・画期的な水泳の練習メニューの導入

体育教官で当時まだ20歳代だった丸山先生が、最新の練習方法を研究して部活の練習に取り入れました。プールを往復するだけで比較的単調になりがちな日々の練習。しかし息継ぎの回数を減らしたり、泳ぎに強弱をつけたりすることで、中弛みしにくくなります。ハイポキシック、ディセンディング、ブローケン、ネガティブスプリット、ピラミッドなどの横文字のネーミングもカッコよく響きました。今でも続く練習法を40年前にいち早く取り入れた功績は大きかったと思います。

・高校総体で勝つための戦略

ある日出場種目を決めるために部室に呼ばされました。2種目に出場できるので1種目は自分の出たい種目、もう1種目は1500m自由形、400m個人メドレー、200mバタフライの中から選ぶよう伝えられました。この3種目は出場者が少なく、泳ぎ切れば得

**株式会社広田住宅センター**



代表取締役  
**広田 金次郎** (柔道部95期)

高崎市田町38(群馬銀行高崎田町支店隣)  
TEL.027-325-0055 FAX.027-330-1181

**株式会社  
市川食品**

〒370-0088 高崎市行力町270-2  
TEL:027-344-5800 www.yuuhashi.co.jp  
代表取締役社長 市川 英久 (柔道部 91期)

高崎駅西口

**木屋駐車場**

TEL 027-322-5712  
〒370-0052 高崎市旭町128  
鳥居 吉二 (柔道部 73期)

点がもらえる種目だったので。戦力にならない水泳未経験選手を得点が稼げる戦力にするための、学校対抗で勝つための戦略でした。私は泳いだこともない200mバタフライに出場することとなり、泳法違反にならず確実に泳ぎ切ることだけを目標に練習したことを憶えています。

## ・オフシーズン

11月から4月の外のプールで泳げない期間は、週に一日だけ群馬スイミングスクールのプールで泳ぎ、あとの5日は観音山のランニング、筋トレや柔軟体操を中心に行います。まじめな練習だけでなく、合間を縫って、缶蹴り、馬乗り、相撲、ハンドベースなどの小学生の遊びを当たり前のように取り入れていました。遊びを通して結果はより強固なものとなりました。

練習がつらかったことより楽しかったことばかりが思い出されます。学校対抗では在籍した3年間のうち優勝2回、準優勝1回と好成績を残すことができました。これは洗

練された練習法と戦略とチームワークの賜物だと思います。

練習以外では、高校1年の夏休みに丸山先生が奥さんの実家がある三宅島に水泳部員十数名を連れて行ってくださいました。真夏の三宅島の浜にテントを張って、満天の星空を眺めながら、自分たちの将来のことを語り合えたことは本当に貴重な体験です。その時間を共有できたこともあり、77期から79期のつながりは特に強く、高校卒業後も繰くことになります。

大学時代には島崎さん(77期)の実家がある下仁田に集まってヤマメを突いたりバーベキューをしたりしました。社会人になってからも正月に地元に集まれるメンバーで毎年丸山先生を囲んで新年会を行なっています。30年以上もほぼ毎年のように新年会が継続できているのは、いつも幹事をしてくださっている須藤さん(78期)に依るところが大きいです。

最初は77期から79期の仲良しグループ

で始まった新年会が、諸先輩方や後輩たちに徐々に広がっていき、水泳部のOB会設立の流れが出来ていきました。OB会がなかった時代には、永尾さん(70期)、小貫さん(69期)、斎藤さん(75期)をはじめ、多くの先輩方が翠巒体育会の方々とつながり、現役水泳部員たちに激励の焼き肉をふるまい、そういうことを経て、昨年ようやく島崎さんを会長に水泳部OB会を発足させることができました。未だ直接声をかけることができない若い世代の水泳部OBの方々にもぜひ参加していただき、盛り上げていっていただければと思います。



---

更多好文請到 [www.123share.net](#)

- ④ 2日 ● 第1回役員会議  
9日 ● 第1回編集会議
  - ⑤ 30日 ● 関東大会出場の部へ祝金
  - ⑥ 4日 ● 第2回編集会議  
5日 ● 監査役会  
13日 ● 第2回役員会議  
20日 ● 第45回定期総会・懇親会  
● 翠巒体育第38号発行

2019事業報告

- 7 23日●ゴルフ大会役員会議
  - 8 1日●第29回ゴルフ大会  
10日●第21回高前OBゴルフ定期戦  
28日●国体出場の部へ祝い金
  - 9 1日●若手を増やす会(WFK)
  - 10 12日●高崎高校マラソン大会  
優秀者表彰

第45回定期総会・懇親会

テニス部／北村 真行(85期)

元号が「平成」から「令和」になって初めての翠巒体育会総会・懇親会(第45回)は、2019年6月10日、グランヴュー高崎にて執り行われました。

例年通り事業、会計、監査報告に始まり、議案としては、大田部会長(85期/ラグビー)の任期満了に伴う改選がありました。この議案は、満場一致の議決をもち

まして大田部会長の再任が決定いたしました。再任された会長のもと次年度の事業計画案、予算案が提出され滞りなく議決されました。甲斐さん(87期/陸上)からは高々現役部員や大学でのOBの活躍の報告があり、また今後も情報を共有できるよう各OB会から積極的に情報をあげていけるよう提言がなされました。

引き続きの懇親会は、各部OB会会長、同員会、また来賓である翠巒体育会顧問、高崎高校校長、各部顧問の先生含め、総勢

92名の盛大な会となりました。先の総会で3期目を務めることとなった大田部会長の挨拶に始まり、来賓の紹介、加藤高崎高校校長、同窓会長の御挨拶を頂戴し、乾杯となりました。新年同窓会の幹事(89期)からもご挨拶頂き、顧問よりの各部戦績報告、各OB会活動報告、写真撮影等を織り交ぜ、楽しく和やかに会は進行しました。元号同様の変化としては、高々運動部長が、翠巒体育会でも永らくお世話になったバレーボール部顧問柴山先生より、新任

のテニス部顧問反町先生に引き継がれたことが報告されました。6月時点ではよもや想像できなかった後の「ラグビーW杯」での日本代表の躍進、その時誰もが口にした「ONE TEAM」ではありませんが、翠巒体育会は単独では活動できず、常日頃の母校や同窓会との連携によって支えられていることを改めて感じました。

### 第3回WFK(若手を増やす会)

ラグビー部／井野 周平(91期)

WFK(若手を増やす会)が令和元年10月1日19時よりカフェアンドレストラングレーにて行われました。この事業は、大田部会長が就任された翌年より、翠巒体育会の目玉の事業として行われ今回が第3回目となります。各部の役員が一人でも多くの若い方をと、積極的に呼びかけを行い総勢38名での開催となりました。当日は、上は77期の先輩から下は113期のまさしく社会人になりたての方まで参加され、自己紹介から始まり大いに盛り上がりました。各自の自己紹介では、自分の勤め先などを参加された方々に伝え、本業での交流なども盛んに行われたと思います。また当時の高校生活の話題でも盛り上がり、この瞬間は参加された多くの方が、若かりし頃の高生に戻りたくさんの笑顔であふれた会合になったのが非常に印象的でした。

今回、改めて感じたのは、参加された方の中でも翠巒体育会の存在や同窓会活動について知らない方が多かったことです。このWFKの活動が高高を卒業しての新しい交流の場の一つとなり、また翠巒体育会活動や同窓会活動がより一層盛り上がることを期待しております。

最後に、本誌を読まれていらっしゃる皆様でまだ参加されたことのない方は、是非とも次回のWFKにご参加されてみてはいかがでしょうか？

懐かしい高校時代に戻れる楽しい時間を過ごせる事は間違いありません。

### 翠巒体育会忘年会

サッカー部／根岸 強(87期)

令和元年12月5日(木)グランビューカーにて翠巒体育会忘年会が行われました。

今回より活性化忘年会を、翠巒体育会忘年会に名称を改め第1回目の開催となりました。

例年どおり年代の垣根を超えて各部OB同士の交流を盛んにし、より一層の親睦を深めることが開催の趣旨であります。

編集委員等で約10年ほど翠巒体育にかかわってきましたが、12月は日程が合わず忘年会に参加するのは初めてでした。席に着くと、各部数名の参加者がおりました。我が部は私1名の参加であったため、少々心細く感じておりました。しかし87期の同期が数名おり、そんな心配も束の間ありました。様々な業種の方や年代の離れた方と話す機会がもて楽しく歓談させていただきました。また、各部の紹介においては、活動内容を知ることができとても良い機会になりました。

令和2年の忘年会には、なるべく若い年代の人間を説いて、翠巒体育の発展に貢献したいと考えております。

連覇をより近づけるためには若い諸兄の参加が必要です。旧交を分かち合う場として、この会を活用ください。

最後となりますが、コロナに打勝ち、第30回大会が盛大に開催されることを祈念し筆を置きたいと思います。

### 第29回ゴルフ大会 個人優勝

サッカー部／吉田 和人(81期)

81期サッカー部の吉田です。島野町で整形外科ワイスクリニックを開院して17年になりますが、仕事が終わるのが20時過ぎとなるため、ゴルフの練習はあまり出来ていません。ただ、木曜、日曜が休診なので、ラウンドは人並み以上にこなしています。

毎年、医師会の月例と重ならない限りは体育会コンペに参加しており、目標はサッカー部の優勝と個人ベスグロですが、今回はその二つを達成する事が出来ただけでなく、個人優勝までさせて頂き、大変光栄です。

団体戦については後輩の青柳君が書くと思いますので、詳細は省きます。個人の内容はサンコー 72カントリー 高崎36

岩平36 グロス72で、ハンディが2.4付きネット69.6でした。5バーティー、3ボギー、1ダブルボギーで、1m位のパットを3回外したのが悔やまれます。サッカー部同期の渡邊君が37/35で猛追して来たのでヒヤヒヤでしたが、同グロスでホールアウト出来、4月生まれの僕がシニアベターでベスグロを頂きました。彼は高校時代に、関東大会、国体、全国選手権大会に共に出場したチームメイトであり、良きライバルでしたが、サッカーがゴルフに変わっただけで、その関係は今も変わりません。野球部、ラグビー部にも期待の若手が出て来ましたが、彼らに負けないよう、そして、渡邊(あえて君は付けません)の悔しそうな顔を見る為にも、今後も頑張りたいと思います。

### 第29回ゴルフ大会 団体戦優勝

サッカー部／青柳 厚(83期)

半年後にコロナ騒ぎで動きが取れなくなるなんて想像すらしなかった令和最初の第29回大会で、我が部は4年ぶりに優勝しました。個人では81期吉田先輩が優勝、69期吉野先輩が準優勝、さらにベスグロは優勝者の吉田先輩と同期の渡邊先輩で分け合いました。この3人に58期佐藤先輩が続き優勝を勝ち取ったのでした。

思い起こすと、初参加はサッカー部が連覇をかけた第26回大会。吉田先輩の参加なく連覇を逃し、渡邊先輩の悔し顔は忘れられません。私はこれを機に練習場に足を運んでおりますが成果は出てきません。先輩より「せめて優勝カップの保管とコメント投稿で優勝に貢献しろよ」と今回の運びとなった次第です。

めまい・補聴器・アレルギー  
各種日帰り手術

# 清水耳鼻咽喉科

院長 清水 祐二  
(サッカー部73期)

●診察時間 午前 9:00~12:30/午後 2:30~6:30

●休診日 日祝祭日・土曜日午後 <http://www.shmz-ent.com/>

高崎市京町321-4

027-353-4533





●第29回 翠巣体育会ゴルフ大会

●ゴルフ大会 団体優勝の  
サッカーチームOB会

●個人優勝の吉田氏



●会報誌編集会議(2019.4.9)



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰

●若者を増やす会(WFK)  
優秀者表彰

## ■ 第29回ゴルフ大会結果

## ●団体戦

順位	運動部名	GROSS	HDCP	NET
1	サッカー	318	32.4	285.6
2	硬式野球	319	21.6	297.4
3	スキー・スケート	322	32.4	289.6
4	ラグビー	335	43.2	291.8
5	卓球	339	36.0	303.0

## ●ネット個人戦

順位	氏名／運動部名	高崎	岩平	GROSS	HDCP	NET
1	吉田和人(サッカー)	36	36	72	2.4	69.6
2	吉野 勉(サッカー)	40	43	83	13.2	69.8
3	割田誠也(合唱)	51	42	93	22.8	70.2
4	福山紀隆(サッカー)	45	40	85	14.4	70.6
5	中山雅史(バドミントン)	38	39	77	6.0	71.0

## ●グロス個人戦

順位	氏名／運動部名	高崎	岩平	GROSS
1	吉田和人(サッカー)	36	36	72

# OB

## 各運動部OB会の近況報告



陸上競技部  
茂原 賢三  
(89期)

まずは陸上競技部OBの活躍について、二つ紹介いたします。

1月25日に開催された第118回高崎高校同窓会新年総会において、

陸上競技部OBの71期坂本正樹氏が会長に選出・承認されました。坂本氏はこれまでに陸上競技部OB会副会長を務められたりもあり、陸上競技部OB会の活動に大きく貢献されてきました。今回の同窓会会長への就任は、陸上競技部OB会にとって、たいへん喜ばしいことです。坂本氏の益々のご活躍を会員一同、祈念申し上げます。

また、1月2、3日に開催された箱根駅伝において115期茂原大悟氏(國學院大學を今春卒業)が昨年に引き続き出走(今回は復路9区)を果たしました。國學院大學が総合3位に入りました。加えていわゆる大学3大駅伝のひとつである出雲駅伝で國學院大學が優勝したことによって、メディアに取り上げられる機会が多く、その分「高崎高校」の文字も新聞・テレビ・インターネット・SNS等で例年に増して見ることができました。今後も高崎高校出身の箱根ランナーが出現してくれることを期待したいと思



います。

続いて、陸上競技部OB会としてのこの1年間の活動として、二つ紹介いたします。

ひとつは、例年7月に開催している陸上競技部OB会の定期総会及び懇親会です。現顧問の新井康司先生、元顧問の高橋賢

(山岳部79期) キッチン・バス・トイレ・耐震・省エネ  
**リフォーム工房**  
**株式会社スカワ**  
代表取締役 須川 光一  
ハッピーな お フロ  
高崎市倉賀野町1717 ☎0120-827-026  
(倉賀野駅南口・駅前通り) リフォーム スカワ 検索

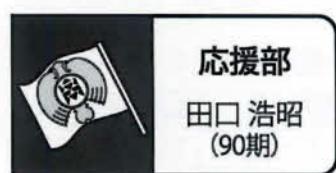
山岳部OB (84期)  
代表社員・税理士 真下 哲夫  
税理士法人 真下経営  
高崎市倉賀野町3557-4 TEL 027-346-1463

山岳部OB (78期)  
税理士 吉井 章一  
吉井章一税理士事務所  
高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

作先生をご招待して、総勢約20数名の参加者によって高崎市内で開催されました。

もうひとつは、先の11月に、2年連続で全国インターハイ走り高跳びにおいて入賞を果たした大平海史君の快挙を讃えることを目的として祝賀会を開催しました。OB会員はもちろん現役高校生部員の保護者の方にも出席を呼びかけたところ、数名の保護者の方々に出席していただきました。現役高校生部員の保護者にも陸上競技部OB会の活動について知っていただく良い機会になりました。

今後も甲斐俊輔会長(87期)を中心にして、来年度の「翠巒体育」会報の執筆に関する話題(ネタ?)がどんどん増えていくような、本会及び会員一同の大いなる活動を期待したいと思います。



卒業してから二十年以上が経ち、先輩から声を掛けられて新年総会に出席するようになり、懇親会ではステージで応援部として登壇しております。まさか現役時代にはそこまで活動するとは想像がつきませんでした。

そして毎年開催される翠巒祭で行われるリーダー公開講も現役の部員達の姿を見に行ってみました。その時私は自分達が活動していた頃とは違い愕然としました。そして何故だろうと当時の事を振り返ったりしながら色々と考えてみました。確かに私達も先輩たちから指導を受けている際、少し首を傾げながらちょっと違うなどと言われていた事を思い出しました。時が進むにつれて少しずつ変化してゆくものなのかもしれません。

翠巒祭全体を見渡してもやはり全体的に雰囲気が違う、来場しているお客様たちの客層も大きく違う。生徒たちの父兄や兄弟が増えたようだ。私達の頃は他校からの女子生徒が大半だったのだが、世間との関わり方も変わってきたのだろうか。

時代とともに生徒たちの考え方や価値観も当然の事ながら変わってゆくのは当然なのだろう。自然の流れか。しかしながら高々生の気質はどうなのだろう、変わったのか、それとも引き継がれているのだろうか。

コロナウィルスの影響で今年の翠巒祭は中止となってしまい



ましたが、機会がありましたら是非とも翠巒祭に足を運んでみて下さい。思い出と共に新しい発見があるかもしれません。



スキー・スケート部  
寺澤 佑介  
(95期)

いつもOB諸兄、および関係者の皆様には大変お世話になっております。

新型コロナウイルスの影響の拡

大が、心配されております。

ご自愛のほど心よりお祈りしております。  
スキー・スケート部OB会の昨年度の活動としましては、十一月十六日(土曜日)、OB総会、そして懇親会を高崎市内、割烹多喜にて行いました。

OB総会も第七回となり、参加人数は例年より若干少なく、十三名でした。

まず、神保裕之会長の方から挨拶があり、その後、2019年度の事業報告、続いて2019年度会計、監査報告がありました。

その後、2020年度事業計画、2020年度の予算案について説明がありました。

いずれも御承認をいただきました。

最後に顧問の井上先生の方から、スキー・スケート部の現在の状況についてお話をありました。

総会の時点では現役生は一名で、スケート専門ということでした。

現役生のさらなる人数の拡充に、何か出来ることはないか、それは我々、スキー・スケート部OB会の大きな課題と思われます。ウインタースポーツは経済的な負担が大きいです。そうした部分のサポートはもちろんのこと、それだけに留まらず、他のサポートも必要です。現役生が、スキー・スケートのさらなる魅力に触れ、その魅力を現役生が後輩たちに伝え、もっと部員をふやしてゆく……こうした良き流れを作る一助を、OB会として果たしていくかなければならないと、痛感しております。

スキー・スケート部OB会としましては、現役生が、集中力をもって競技に打ち込める環境を整えられるよう、努力を続けていきたいと考えております。

どうぞこれからも、宜しくお願ひ致します。



水泳部  
新藤 洋一  
(81期)

「青春の絆」でも取り上げたので、重複しますが、何しろこの1年のトピックスは、水泳部のOB会を立ち上げたことでした。

個人競技は連帯に欠けると、思っていましたが、陸上部は立派なOB会組織があります。それを知ったのは、同窓会の幹事などで久しぶりに会った同期の友人からです。

「翠巒体育」の編集委員をやるようになって、他の部活は大量の冊子をどのように配布しているのかが気になっていました。水泳

部は30部を受け取り、新年会で20部配布というのが実態でした。

ただ、この新年会があったことが、OB会の立ち上げにつながったのです。40年続いている新年会ですが、新任でアニキのような存在だった顧問丸山先生がいて、在校中から部員と個人的なつきあいがあったそうです。

丸山先生には、OB会立ち上げ総会で、来賓として挨拶を頂きました。そして、新年会にも続けて参加いただいている。今ではゴルフ三昧のようで、毎週のようにコースに出てきています。



### 翠巒サッカークラブの思い出

翠巒サッカークラブは、高崎高校サッカー部のOB若手(以下「OB若手」といいます。)のサッカーをする場として、長年にわたり活動して参りました。

しかし、ここ最近ではそもそも群馬県内に在住するOB若手が少なくなっているなどの理由により翠巒サッカー部に入部したいと考えるOB若手は非常に少なく、常に人数不足の状態となっていました。

このような事情から令和元年をもって翠巒サッカークラブは、休部しました。

最後までチームに残って奮闘していたOB若手や助っ人の皆さんには、サッカーをする場を再度確保してもらうこととなり申し訳なく思っております。

翠巒サッカークラブには、地域に長年密着したクラブだからこそその特徴があり、それがサッカーをさらに楽しくしていました。

特に際立っていた特徴、それは「ファウル(特に身体的接触の伴うもの)が少ない」ということです。これは高崎高校サッカー部OBが運営しているチームということで、助っ人として加入してもらった外部の方にもチームの雰囲気として共有してもらっていたと思います。

ここ最近は、リーグの成績の中の下くらいを彷徨っていましたが、フェアプレー賞を何度も受賞し、フェアプレー賞の受賞を逃したとしてもファウルは突出して少なかった印象です。

レベルが高くなるほど駆け引きの要素の中にファウルが入ってくる傾向もあると思います。

製鋼原料・非鉄金属  
産業廃棄物収集運搬・計量証明

### 上越鋼業株式会社

代表取締役社長 波瀬 憲昭 同窓会副会長  
高崎市上豊岡町560-10 〒370-0871(八幡第二工業団地)  
TEL(027)343-1325(代) FAX(027)343-9569

### 高橋浩生税理士事務所

税理士 高橋 浩生 第4代翠巒体育会 会長  
税理士 白井 浩一 バレーボール部(78期)  
〒370-0072 高崎市大八木町3002番地10 水泳部(89期)  
TEL.027-363-6303 FAX.027-363-6302  
http://www.kaikei-home.com/cpta\_hiro-hp/

### 有限会社 北原タイヤ商会

各種タイヤ販売・卸・修理・各種ホイール販売  
代表取締役 北原 幸一 バレーボール部OB(86期)  
〒370-0043 高崎市高関町316-6  
TEL(027)323-5988 FAX(027)323-5858

しかし、ファウルとは基本的にはやってはいけないことです。

ファウルが多くなりがちな社会人サッカーの中にあって、ファウルをしないことをモットーとするサッカーは楽しかったです。

このような素晴らしい特徴をもった翠巒サッカークラブが休部になってしまふのは残念ですが、チームに所属していた方にはその精神を他のチームにおいても広めていってもらえば嬉しいです。

最後に翠巒サッカー部の活動を支えて下さった多くの皆様に感謝申し上げます。有難うございました。



令和元年8月10日(土)、35度を超える猛暑の中、高崎高校テニスコートにて毎年恒例のOB、現役との親善試合が行われました。63期から114期まで、幅広い世代のOBが参加し、現役と熱戦を繰り広げていました。夕方からは、萬嵐にて懇親会を行い、最後には全員で応援歌「翠巒」を歌って終わりました。

OB会の時に、顧問である菊池先生から「早稲田大学との合同練習が可能であるか。」と提案があり、早大OBである大澤先輩(63期)を中心に話が進み、そこから9月1日に合同練習が実現しました。午前は合同練習、午後はゲーム練習を行い、大学日本一の早大に対して、現役生も善戦しました。高々生と早大生との合同練習は初めてであり、大学日本一を肌で感じて、レベルアップにつながりました。

ソフトテニス部OB会は、長きにわたって会長をされていた丸山先輩(68期)から田口先輩(74期)へ会長が引き継がれ、新体制となっています。これからも、現役の活動がより充実していくよう、OB会としても盛り上がっていければと思います。



卓球部OB会では定例的な行事として毎年7月下旬と1月上旬に現役生とOBとの交流試合を行なっています。試合後には懇親会や新年会を開催し、OB同士の交友関係を深めています。私は数年前からその交流試合に参加をしていますが、最初のころは長らく(約7年)卓球を離れていたブランクもあり、中々現役生に勝つことが

できませんでした。しかし、ここ直近の交流試合では現役生に勝ることが増えてきており、自分自身の成長を感じるとともに、ようやく後輩にまともにアドバイスができるようになりました。とある現役生に試合後に話を聞いてみたところ、(現役生の上位選手の一部は)ベスト64までは行けるがその先が難しいと言っていました。新型コロナウイルスの影響で高校総体の開催が不透明な状況ですが、彼らには是非ベスト32以上を目指して頑張ってもらいたいと思います。私個人としても現在目標を持っているので、僭越ながらこの場で宣言をしたいと思います。それは「前高OBで現在卓球を続けている社会人選手に勝つ」ことです。前高は県内では強豪校であるため、OBの選手も試合巧者ばかりです。彼らに勝つことをモチベーションのひとつとして今後も卓球を続けていきたいと思います。

ところで、ここ数年の試みとして、「翠巒体育」の寄稿を毎年異なる若手が受け持つということを行っています。これは、一部の特定のOBだけでなく、なるべく多くの若手にOB会に関わって欲しいということからです。ちなみに、私自身としては36号以来2度目の寄稿となりますが、また来号以降は初寄稿となる若手がなるべく出るようにしていきたいと思っております。

また、もうひとつの取り組みとして、高高卓球部OBでチームを組んで試合に出場する、ということを行っています。「すいらんクラブ」という名前で、県登録を受けた正式な団体ではありませんが、年に何回か大会に出ています。昨年は、榛名の大会や安中の大会等に出場しました。元気の良い若手と老練なベテランが一堂に会して、勝利に向かって汗を流すのは不思議な感じではあります。一体感を感じることができ、気持ちの良いものです。試合用のゼッケンは用意したのですが、お揃いのユニフォームがまだありませんので、いずれ購入したいと考えています。



バスケットボール部  
塚本 浩史  
(99期)

日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。さて、毎年恒例となっている、現役とOBとのOB戦が元日に開催されました。

恒例とはなっているものの、そこに集うOBは歳月を経るごとに若手のOBが増え、とても懐かしくそして懐かしさを感じます。そして、このような機会の提供を続けることができるのは、顧問の渡部監督をはじめとする学校関係者、そして現役の父兄・ご家族の方々のご協力がいたただけるからこそであり、改めて御礼申し上げます。

さて、令和元年度は現役支援として、支援金の贈呈とボール等の物品提供を実施しました。会としてはこのような支援を行いましたが、様々な場面でこれまでにも多くのOB諸兄が現役の支援をいただいていることに、改めて感謝を申し上げます。

また、最大の目標であったインターハイが中止という事態に、最終学年である3年生をはじめとする現役の心中を想うと心が



痛みます。文武両道で培われた集中力を糧に新たな目標へと進む現役、特に3年生にエールを送り、高校時代の青春の思い出作りに役立つ支援を考えておりますので、本稿をご覧になっているOB諸兄の引き続きのご支援ご指導をよろしくお願ひいたします。



ラグビー部  
芳賀 弘幸  
(81期)

翠巒体育会の会員の皆様には、日頃よりお世話になっています。高崎高校ラグビー部OB会は、現役生の応援のため様々な活動を行っ

ています。

昨年はラグビーワールドカップが日本で開催され、「にわかファン」という言葉が生まれるくらいラグビーが盛り上がりました。ワールドカップが開催されるということで高高ラグビー部OB会でも何かできないだろうかと理事会で話題になり、ライブビューイングを企画しました。高崎市内の飲食店を貸し切り、OBやラグビー好きが集まって、9月20日の対ロシア戦を観戦しました。当初、50人位集まればいいかなと考えていましたが、なんと100人以上が集まり、皆で熱い夜を過ごすことができました。

また、毎年行われる行事として、高崎高校ラグビー部OB会として、毎年1月に行われるOB戦があります。今年57歳になった私が現役時代にもお世話になった大変歴史のある行事です。「現役激励」の目的で、絶えることなく続いている、今年も、たくさんの参加者が集まりました。試合観戦だけのOBはグラウンドで現役に



檄をとばし、OB戦目的で集まってきた卒業したての若手から、年配のOBまでが、試合を通して、現役ラグビー部員にラグビーの厳しさ、楽しさを体を通して伝えました。OB戦の後は、場所を移して総会と懇親会が行われます。ここでも年配のOBや若手のOBが年齢の垣根なく現役時代の思い出やラグビーについて熱く語り合っていました。特に今回は、昨年のラグビーワールドカップの盛り上がりもあり、一層ラグビーの話題に花が咲きました。

さらに、もう3年目になりますが、12月にラグビー部OB会主催で1年生の体育の授業においてラグビーの体験授業を行いました。高崎高校の「校技」であり、年配のOBにとっては懐かしい体育での冬のラグビーが授業で復活できるよう、ラグビー部OB会は高高的ラグビー授業にも積極的に関わっていきたいと思っています。

そして、当然、高高的ラグビー部がさらに躍進できるよう、春の関東大会、夏の7人制ラグビー全国大会、冬の花園全国大会出場に向け、OB会は一層の支援を行っていきたいと思っています。



ここ最近のバレーボール部OB会の大きな話題として、Vリーグ・堺ブレイザーズ所属の樋口裕希君(114期)の活躍や、山口拓海君(115期)と渡辺慎太郎君(114期)がVリーグ・東レアローズに選手とマネージャーとして入団したことが挙げられます。

令和2年1月3日に開催されました新年の恒例行事であるOB×現役の練習会及びOB新年会でも、その話題で盛り上りましたが、それに負けない位の個性豊かな先輩後輩の近況報告を聞くことができました。多数の若手を含む30名以上が参加し、Vリーグでの高崎高校バレーボール部OB対決への期待を膨らませながら、就職・結婚・失敗談・娘の合コン相手探し・一発芸など話題の絶えない賑わいのある会になりました。

OBチームである翠巒クラブですが、20代のメンバーが増えたこともあり、大会によっては2チームに分けて参加することもできました。日頃の活動とともに、バレーボールを通じて地域・社会に貢献できる活動にも力を入れていきたいと思います。

今後の現役生の支援につきましては、バレーボール部顧問である柴山先生(103期)と連携を取りながら、現状に合った最善の支援を行えるように尽力して参ります。



御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、  
趣味のお集まり等に…。  
**割烹 魚 仲**  
取締役社長 羽鳥修司(卓球部・63期)  
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428㈹  
FAX 027-326-7070

**SYSTEM HOUSE 株式会社システムハウス**  
代表取締役 堤 康高(卓球部71期)  
群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルⅡ4-B  
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480  
URL <http://www.syshp.jp/>



テニス部  
北村 真行  
(85期)

高々テニス部OB会の主たる活動である夏のOBテニス大会及び、総会・懇親会を昨年も8月10日(土)に開催しました。OBテニス大会は高崎高校テニスコートにて、現役部員に相手をして頂き、練習試合を行いました。現役部員の強打を返すだけでもヘトヘトでしたが、逆にゲーム運び等老練な熟年プレースタイルも参考にしてもらえたなら何よりです。猛暑の中、顧問の先生にもお付き合いいただき、ありがとうございました。

夜の総会・懇親会は場所を白金町「羅迦亞樹」に移し、林会長(81期)をはじめ14名程の出席でしたが、予定時間を延長して、今回も楽しいひと時を過ごしました。懇親会名物余興である小泉先輩(84期)の落語は回を重ねるごとにクオリティーが上がり、ひとしきり感心と笑いを頂きました。

その他、県内在住のOBが毎週日曜日に吉井や新町のコートに集まり、テニスで汗を流しています。これまで平均年齢50代中盤だったのが、昨年からは20代の若者が2名加わり活況を呈しています。そんな毎週の体力作りも、今春から突如見舞われた「コロナ禍」により、4月中旬より「自粛」中断となっています。この会報が発行される頃には全国的に事態が収束し、社会活動同様、我々のささやかな集いも再会できていることを願ってやみません。



硬式野球部  
佐藤 和行  
(92期)

我々硬式野球部OB会では、主に、OB自らがプレイする野球そのもの(①)、現役チームの応援(②)、親睦(飲み会)(③)といった活動を

続けています。

①では、「翠巒クラブ」として壮年(40歳以上)、熟年(50歳以上)のクラスで大会に出場しているほか、各高校の野球部OB会が出場する「群馬県高校野球OB大会」(マスターズ甲子園の県予選)に幅広い年代のOBが参加しています。伝統のえんじ色のユニフォームを着て、胸をときめかせて野球を楽しんでいますが、現役時代の恩師や先輩とのプレイでは、当然、緊張度が高まります。②は、母校のグラウンドで、大会の球場であるいは紙面やテレビにて、後輩の活躍を期待し応援しています。③は、①②の関連であったり、期別の定期的な集まりであったりしますが、各々の現役時代の話題で盛り上がり、終盤には皆が声を張り上げて校歌を

**株式会社大陸不動産**  
代表取締役 山口正敏  
(卓球部・58期)  
高崎市宮元町108番地 TEL 027-322-4031

歌います。いずれも、高高野球部OBであることを誇り、喜び、楽しむことができる、そんな大事な居場所となっています。

…というのは、例年のことです。令和2年度は新型コロナウイルスの感染防止のため高校野球の春季大会が中止となってしまい、応援はおろか、現役生は練習もままならない日々が続いています。私達OB自身の野球も、シーズン当初から大会が中止となっていますし、親睦に欠かせない飲み会も開くことができません。一日も早く例年のような活動再開を願うばかりですが、プレイを楽しみ、応援を楽しみ、親睦を楽しむことができる日常がどれほどありがたいものであったのか、さらには現役時代、仲間と野球に明け暮れ、時間を共有できた日々がどれほどありがたいものであったのか、改めて受け止めなおす必要があると思います。

そして、高高野球部の伝統がさらに栄えあるものとなるよう、心を揃えて後輩たちを応援していきたいと思います。



### 柔道部

伊藤 俊一郎  
(92期)

今年も例年通り、1月3日に高崎高校柔道場にて現役・OBにて行われる稽古始め、及び会場を移動しての新年会を行いました。

稽古始めは、現役7人を含む計29人が参加し、見学者等を加え40人以上が集まる中で行われました。稽古内容は、ウォーミングアップ・寝技打ち込み・寝技乱取り2分×10本・立技打ち込み・立技乱取り3分×10本を順に行い、インターバル後、恒例の現役・OB対抗戦を行いました。監督の田中利明先生の指示により6人1チームとなり、1試合目は現役チームがOBチームに対し4勝2分けで見事勝利しました。2試合目は入れ替え後のOBチームと現役チームで接戦となり、2勝2分け2敗の内容にてOBチームが勝利しました。その後、全員での礼にて稽古始めは終わりましたが、稽古終了後もOBが現役に技の指導を行うなど、新年にふさわしい活気と交流がある稽古となりました。

新年会は、グランビューカフェで24名の参加により行われました。高崎高校柔道部OB会 鳥居吉二会長(73期)のあいさつがあり、その後のお互いの近況報告では、柔道にまつわる思い出話や、これから柔道とどのように関わっていきたいかなどの思いも含めながら、それぞれの状況を会場に伝えていきました。また、歓談では皆とのたくさんの会話を通じ、終始、和やかで楽しい時間を共有しました。



### 剣道部

瀧野 修司  
(86期)

剣道部のOB会として例年行っている活動の第一は、現役の高校剣道部の援助です。夏・春の合宿の際には、十分な額ではありません

人が合宿援助を行い、それと共に高段者や大学生らOBによる稽古会を催すことで、現役高校生の技量の向上を図っています。稽古会は夏・春の合宿の夜と正月3日の午後に開催され、今年の新年稽古には大学生も含めた40名のOBらが剣を交え、現役部員に指導しながら、OB同士の互角稽古によって交流を深めました。

OBの中には、県内外の剣道界で活躍されている先輩が何人もおり、お互いの近況報告や昇段審査の情報なども稽古会で交わされます。また今年から藤木正行先輩(69期)に代わり小池政一先輩(77期)が剣道部OB会の会長に就任しました。

さらに、今年2月に行われた全日本都道府県対抗剣道優勝大会の予選において、北野寛平先輩(105期)が中堅の部で勝ち上がり、本選への出場を決めました。ただ、残念なことに本大会は中止となってしまいました。

高校剣道部の活動も、顧問の木村先生と國富先生に熱心に指導していただいている。新型コロナウイルスの影響で、稽古はおろか大会の見通しも立たない状態ですが、今後もOB会が高崎高校剣道部の活動を全面的に支援し、一層もり立てて行きたいと考えています。



### 山岳部

吉井 章一  
(78期)

昨年度における現役生とOB会との交流の機会は2回ほどありました。一つは翠巒祭の期間中に会合を持ち、展示物の見学を行いました。10・20・30kgの重さにした3種類のザックの展示がありましたが、現役時代よくこの重さで山を登っていたものだと当時の健脚ぶりに思いを巡らせました。

もう一つは夏合宿前の差し入れです。部員の増員により不足した装備類の補充を行うこともありましたが、昨年度は飲料の差し入れという形に致しました。

また現役生の総体での成績は、近年目覚ましいものがあります。いつの日か県総体で優勝、そしてインターハイに出場という結果をもたらしてくれるのではないかと期待しております。そういったことでも今年の総体の中止は本当に残念でなりません。

また、OB会員自身も、再び山にチャレンジしている方が増えてきております。毎年秋にはOB会の山行が計画されており、参加者も少しずつ増えています。若い頃の山登りとは別な目標を持

ち、マイペースで楽しむことができるのが山登りの醍醐味かと思われます。

以上の内容については山岳部OB会のホームページにて写真付きで紹介させていただいております。翠巣体育会のホームページよりリンクできますので是非ご覧になっていただきたいと思っております。

### 《高崎高校運動部の活動報告》

## 先輩がんばってます



### バドミントン部

斎藤 南人

私たちバドミントン部は、3年7名、2年14名の計21名で、団体戦県ベスト8を目標に活動しています。

初心者から始める部員も多い中、頭を使い、短期集中型で練習をして、経験者の多い東毛地区の学校にも勝てるよう精進しています。さらに、体育館の大きさに対して、平日はかなり少ないコート数で練習をしなければならないので、全員が平等に練習し、成長できるよう工夫しています。

コロナウイルスによって、約3ヶ月間部活動ができなかった分、部活動に向かうモチベーションが上がった今、自粛期間に衰えてしまった技術や筋力を、ケガに注意しながら、そして、練習できる環境、指導してくださる先生方がいることに感謝しながら、日々粉骨碎身していくので、応援よろしくお願ひします。



### 応援部

根岸 歩夢

新型コロナウイルスの影響により、インターハイをはじめ、多くの大会等が中止となってしまった今、努力の成果を発揮する場を失くしてしまった選手たちの恨しさは、私の想像を超えるものと存じます。現在の状況を鑑み、再び「応援部」とは何かということを考えると、今何をすべきなのかが、僅かながら見えてきたような気がします。

今年の高崎高校は例年のように行事を開催できており、今年の一年生は「高高らしさ」を体感できていないのではないかと憂っています。そういった状況で、如何にして次の代に伝統をつないでいくか、それを考え、実行していくのが我々の役目であると愚考しております。百年以上絶えず燃え続けた「伝統」という名の炎を絶やさんとがんばり、尽力していく所存です。伝統よ更に栄えあれ。



### 柔道部

福田 光治

私たち柔道部は関東・全国大会出場を目指に向かって日々稽古に励んでいます。高崎高校柔道部として“考える柔道”に力を入れ、個人そして団体の強化に努めています。

しかし、今年に入り、新型コロナウイルスの影響により試合はもちろん練習も行うことができませんでした。三年生は目標であるインターハイが中止になり、引退となってしまい非常に悔しい思いをしました。集大成として己の力を出せずに終わることは残念ですが、高崎高校柔道部員と共に稽古に励み汗を流したことはとても良い経験であり、良き思い出でもあります。この思いを持ち続け、今後も日々精進していきたいと思います。

最後に後輩たちへ、顧問の先生方や保護者の方々、OBの方々への感謝の気持ちを忘れずに今後とも関東・全国大会出場に向けて努力していってください。



### テニス部

布施 智也

6月時点でテニス部は、顧問の高橋先生と副顧問の鈴木先生のご指導の下、3年生4名、2年生8名の計12名で活動しています。最も力を發揮できる3年生にとって最後の大会である高校総体が今回の騒動により中止となってしまい、仕方のないことではありますが、やはり残念この上ないです。ですが、今まで活動してきたこの数年間を通しての自己の研究や仲間との分かち合いを経て、大きな成長を遂げられたことを確信しています。

我々3年生は引退となってしまいますが、後輩たちも同じような経験をして部を引き継いでいって欲しいです。また、テニス部のさらなる向上を願っています。短い間でしたが、時間を共にした部員たちと顧問の先生方へ感謝申し上げます。ありがとうございました。引き続き、テニス部の応援よろしくお願ひします。



### 水泳部

大串 知寛

私たち水泳部は、山田先生のご指導の下、3年生4人、2年生1人の計5人で活動しています。個々の目標達成の為冬場も厳しい練習に励んできましたが、新型コロナウイルスの影響により、シーズン直前で2ヶ月程の練習中止を余儀なくされ、陸トレのみの生活が続きました。長期間泳げないことで水の感覚を忘れてしまわないか、細かな筋肉が落ちてしまわないかなど不安で辛い日々でした。

昨年度メドレーリレー・個人で出場を果たしたインターハイを初めとする、殆どの大会が今年は中止となってしまい、3年生にとって非常に残念ではありますが、今までの努力はいつか必ず報われる信じて、この先も頑張っていこうと思います。来年度以降、1・2年生には3年生の分まで是非頑張って欲しいです。今後とも水泳部のご支援どうぞよろしくお願ひ致します。

### 表野登記測量事務所

土地・建物の登記・測量／開発申請／相続／各種許可申請  
土地家屋調査士 表野 真拡 (ラグビー部・83期)  
高崎市小川木町1450番地7  
TEL.027-370-1286 FAX.027-370-1287  
E-mail hyono.m@aria.ocn.ne.jp

### しばやま歯科

柴山 佳行 (ラグビー部・96期)  
〒370-0849高崎市八島町107-102  
TEL.027-393-6480

### 靴のことならトリオ

専務 吉村 祐二 (ラグビー部・101期)  
株式会社トリオ 群馬県高崎市若松町92  
TEL.027-322-4192

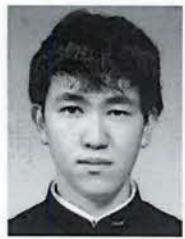


## バスケットボール部

前嶋 祐里

私たちバスケットボール部は、3年生7人、2年生10人の計17人で顧問の渡部先生、川田先生のご指導の下、近年達成できていないベスト4の壁を突破し、さらにはその先の舞台で戦えるように日々練習に取り組んでいます。

新人戦では、あと一步のところでベスト4に届かず、自分達の力の無さを痛感しました。チームとして目指すべき方向性や、総体・インハイ予選への意気込みも高まってきた中で、3月からの休校によってチームでの活動が途切れてしまいました。しかし、この期間バスケができる状況で、部員一人一人がバスケへの思いや、いかに自分達が恵まれた環境の中でプレーをさせてもらっていたかという感謝の気持ちを再確認できたと思います。この期間が無駄にならないよう、日々精進していきますので、これからもご支援宜しくお願いします。



## 弓道部

井田 義基

私たち弓道部は顧問の池永先生、副顧問の森戸先生、また非常勤講師の東宮先生のご指導のもと、日々練習をしています。

新型コロナウイルスの影響により、県高校総体やインターハイ等の大会が中止となり、部員全員混乱している状況です。特に3年生はやりきれない思いでいます。そんな中私たち3年生がやらなければならることは、現2年生や新しく入った1年生に、自分たちが先輩から教えていただいたことを伝えていくことだと思います。これから段々と練習が再開されていくと思うので、モチベーションを高く持って練習していくと思います。

最後に指導してくださる先生方やOBの方々に恩返しができるよう、日々精進していきますので、応援よろしくお願いします。



## 硬式野球部

佐保 康平

私たち硬式野球部は、大隅先生、井田先生、稻木先生、今井先生のご指導の下、計45名で日々の活動に取り組んでいます。

思いもよらぬ新型コロナウイルスの影響により、硬式野球部も約3ヶ月間活動休止となりました。そんな中、春季大会中止が決まり、夏の選手権大会の実施も危ぶまれて不安が募る上に、球友に会えず、一人で過ごす休校期間はとても辛い日々でした。

しかし、6月から段階的に活動が再開し、今では仲間と野球ができる喜びを感じながら、楽しく充実した毎日を送っています。

2020年夏季選手権大会の代替大会「群馬県高等学校野球大会」開催に当たって、多くの方々のおかげで野球ができることに感謝の気持ちをもって臨みたいと思います。また、引退を余儀なくされた他の部活動の高高生の分まで、一瞬一瞬を噛みしめながら、最後まで全力でプレーしたいと思います。

**Rise ライズ総合保険**

MSK&D あいおいニッセイ同和損保 認證代理店  
**TOUGH SHOP ぐんま中央**

代表取締役 富田 和弘 (応援部 85期)  
武山 雄海 (バレー部 102期)

〒370-0044 高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364

**GSD** Global Solution Developer ホームページ、WEBシステムの作成はお任せください。

**株式会社ジー・エス・ディー**

専務取締役 佐藤 英樹 (応援部 92期)

〒370-0058 高崎市九蔵町 25-1 WESTIN I 503号  
TEL:027-323-3880 FAX:027-310-2667  
URL: <http://www.g-s-d.net> mail: h\_sato@g-s-d.net



## 陸上競技部

黒木 瞭太

陸上競技部は顧問の新井先生、副顧問の工藤先生、北爪先生のご指導の下、日々の練習に取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルスの影響で大会が中止となり、冬期練習の成果を発揮することができずに悔しい思いの中、この自粛期間を過ごしてきました。学校再開後は新たに一年生のメンバーを迎え、八月の代替大会、秋の学校対抗・新人・駅伝に向け練習を積み重ねています。志半ばで引退を余儀なくされた他の三年の為にも、良い結果を出すことも目標の一つになりました。

最後になりますが、私はこの社会情勢の中、当たり前に練習のできるありがたみ、多くの人の支えによって部活ができていることを痛感しています。自分達を支えてくれる存在・環境に感謝して戦っていきますので、これからもご支援よろしくお願ひします。



## 卓球部

須藤 喬也

卓球部は顧問の長谷川先生、須田先生、中島先生のご指導の下、ベスト8の壁を越えるべく日々練習を重ねてきました。

先生方が多くの練習試合を組んでくださったり、外部コーチの方の指導、OBの方々との関わりを通して、着実に目標に近づいていました。

しかし、例のウイルスにより、僕たちの集大成である高校総体の中止が決まり、これらの成果を発揮する場を失いました。不測の事態とはいえ、このような終り方は遺憾千万ではあります。この目標を後輩達に託したいと思います。

最後に、今後の高崎高校卓球部の活躍を心より願っています。皆さんこれからも応援よろしくお願ひいたします。



## ソフトテニス部

木村 友祐

私たちソフトテニス部は、関東大会・インターハイの舞台に立ち、勝利することを目指しています。部員全員が高い意識を持ち、常に練習の意図を考えて取り組むことを心がけながら日々努力しています。

昨年度、校長先生にナイター照明を設置して頂きました。これによって全体練習や自主練習の時間を十分に確保し、よりテニスに打ち込める環境を整えることができました。これからは、前記の目標を達成するため、確保した時間を有効に活用する方法を考え、それを実行していきます。

チームで一丸となり、目標達成のために力を尽くします。支えて下さっているたくさんの方々への感謝を忘れず、更に実績を残せるよう精進しますので、これからもご支援、ご声援よろしくお願ひします。

でてこい、未来のリーダーたち。  
**四谷大塚 NET** CEBU流學

**適塾**

[www.tekijuku.info](http://www.tekijuku.info) 塾長 櫻井 健一 (応援部 87期)



## 山岳部

岩崎 主佑

私達山岳部は、顧問の井上先生、副顧問の國富先生、鈴木先生のご指導の下、インターハイ出場を目指して日々活動しています。

山岳部の総体は3日間を通して行われ、起床から食事、就寝に至るまで体力や技術、知識やふるまい等を探点されます。

今年度は群馬がインターハイの開催県でインターハイ枠が2つに増える予定だった事もあり、今回の中止がとても悔やまれます。この無念を晴らしてもらうためにも、自分達3年が今まで培ってきた知識や技能を余すことなく後輩に伝え、できる限りのサポートをしていきたいと思います。

大自然の中で活動する事で豊かな心を育むと共に、結果に残る活動を行っていきたいと考えています。今後とも、山岳部の応援をよろしくお願いします。



## サッカー部

大鼓 隆弘

私たちサッカー部は、コロナの影響で高校総体、インターハイが無くなりとても悔しくやりきれない状況です。

その中でも選手権に残る3年生と入部する1年生、2年生22名で新たな目標に向かって再発進します。例年より遅いチーム作りですが顧問の吉田先生、副顧問の徳光先生、渡辺先生のご指導と選手同士のコミュニケーションを大切にし、より効率の良い練習で、個々の能力とチームワークを高めていきたいと考えています。

これからも諸先輩方から受け継いだ伝統と誇りを胸に、今年こそは結果が残せるよう精進していきますので応援のほどよろしくお願い致します。



## 剣道部

神野 純彦

私達剣道部は、三年生二名、二年生七名の計九名で活動してきました。現在は二年生を中心活動しています。

私達剣道部は、関東大会出場を目標にしています。そのため、練習時間を最大限利用できるよう部員一人一人が常に高い意識を持って修練することを心がけています。また、剣道と学業を両立させられるよう、切り替えを素早くすることも意識しています。

今年は新型ウイルスの蔓延により総体、インターハイ予選が中止となりました。部活動も約三か月間活動できない日々が続きました。その期間を経験して一番感じたのは、日々部活動に取り組める事の有難さです。どれほど周りの先生方、OBの方々、保護者の方々に支えられていたかを実感した年でした。感謝の気持ちを忘れずに努力していきます。応援よろしくお願いします。



## ラグビー部

濱田 駿

私達ラグビー部は、花園出場を目指し、皿山先生、反町先生のご指導の下活動しています。

コロナウイルスの影響により、既に公式大会が二つもなくなりました。自分達の最終目標である花園も開催されるか未定です。しかし、私達は、休校期間を利用しようと考えました。三年生は現役志望校合格を目指し勉強により一層励みました。部員全員で花園が開催されるという希望を捨てずに、体力維持や筋力維持に努め、さらにオンラインでのミーティングを活用し、今後のチームの戦略を共有し、ラグビーへの理解を深めました。

最後に、先行きが不透明で、不安な気持ちも多くあるのですが、先生方やOB会の方々への感謝を忘れず、花園出場という夢を持ち続けて、戦い続けます。今後ともよろしくお願ひします。



## バレーボール部

小野 航

我々バレーボール部は、顧問の柴山先生、鈴木先生のご指導の下、部員十八名で活動しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で高校総体、インターハイが中止になりとてもやるせない気持ちです。しかし、高崎高校バレーボール部に入っていたいなければここまで成長はありませんでした。その成長は柴山先生をはじめとする先生方のご尽力、支えてくれる保護者、OBの方々がいなければありえなかったと思います。本当に感謝しています。

この先の見えない状況のなかでバレーボールができる事をあたり前だと思わず、日々の練習に励んでもらいたいです。



## 空手道部

御供 大剛龍

このたびのコロナ禍で、大会は中止され、学校での練習を自粛しなければならない状況が続いています。私は大学でも空手道を続けられるかわからぬので、十五年間続けた空手道の最後のページが空白のようになってしまったかもしれません。練習が少しでも早く再開し、後輩たちが来年以降もたくさん活躍できるように応援することがこれから一番大事な目標です。

そんな厳しい状況ですが、中止になったインターハイの代わりに高体連空手道部は「形インターネットGP」と題した形の全国大会を開催すると発表しました。競技はなんと、選手が提出した演武の動画を採点する方法で行われます。この企画は対戦競技に不可欠な時間や空間の制約がなく革新的だと言えます。私はこのような変革で空手道がより良く発展することを願います。

**目指せ! 全国制覇  
チャレンジ ソフトテニス部**  
高中庭球部応援歌より  
あゝ東西の両洋に テニスの勝者をうたわれし  
好漢清水を出したる 我等は高中健児なり  
ソフトテニス部 OB会

1級建築士事務所 群馬県知事第2146号  
有限会社 田口総合設計  
創業57年 群馬県知事(16)98号  
有限会社 田口不動産  
〒370-0846  
高崎市下和田町一丁目1番1号 TEL 027-322-2492  
1級建築士 田口恵一  
(74期 ソフトテニス部 OB)

**木村動物病院**  
高崎市吉井町池1369-1  
TEL 027-387-2520  
**城南大橋どうぶつ病院**  
高崎市寺尾町2623-6  
TEL 027-384-3000  
72期・100期 ソフトテニス部 OB



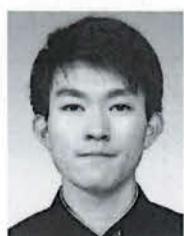
## 軟式野球部

伊橋 淳

私達軟式野球部は、3年生17名、2年生9名の計26名で活動しています。

今年度は部員数にこそ恵まれていたものの、昨年の台風によって普段使わせていただいている八千代橋のグラウンド等が使用できなくなることや、新型コロナウイルス感染拡大防止の為の休校、春季・夏季大会の中止なども重なり、活動が満足に行えたとはとてもいえない結果となってしまいました。

しかし3年生のほとんどがそんな状況の中でも夏まで部活動を続ける決断をし、休校期間が終わると活動を再開しました。自分達の3年間を締め括る夏大会こそ中止になってしましましたが、3年引退後にはすぐに定期戦があります。2年生主体の新チームが前高に勝利し、さらにその先も勝ちを重ねていけるよう、部員一同、頑張っていくので応援宜しくお願ひします。



## スキー・スケート部

佐藤 匠介

スキー・スケート部は一場先生のご指導の下、3年の私1名のみで活動しています。各部の基本とする目標は、スキー部がインターハイ上位入賞、冬季国体入賞、高校選抜出場、スケート部が冬季国体入賞です。昨年度私は高崎市民体育大会スケートの部に出場し、高校生男子の部で2位に入賞しました。我々は部としての活動はしておらず、各個人の競技や目標に合ったトレーニングをしています。

スキーやスケートは冬季の娯楽として大変人気が高い一方で本格的に競技を行う人は極めて少なく、高高スキー・スケート部も部員を確保して部を維持することが大変困難な状況です。経験者や興味のある1・2年生には是非とも入部してほしいです。今後ともスキー・スケート部へのご支援、ご声援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 令和元年度運動部活動状況

## ■ 硬式野球部

全国高等学校野球選手権群馬大会

1回戦 8-0 高 東  
2回戦 3-0 館 林  
3回戦 1-2 前 商

秋季西毛リーグ

予選 2-3 吾妻中央  
2-6 健大高  
- 県 央 (雨天中止)  
9-9 吉 井

秋季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1回戦 4-5 太 田

春季西毛リーグ 中止

春季関東地区高等学校野球大会群馬県予選

1回戦 中止

## ■ バレーボール部

インターハイ予選

3回戦 2-0 農 二  
準々決 2-1 桐 商  
準決勝 0-2 伊勢崎

第3位

西毛地区大会

2回戦 2-0 高 北  
準決勝 0-2 高 工

第3位

全日本バレー ボール高等学校選手権大会県予選

3回戦 2-0 館 林  
準々決 2-0 前 工  
準決勝 2-0 県 央

準優勝

新人大会

3回戦 2-1 高 商  
準々決 1-2 伊 商

ベスト8

## ■ 空手道部

インターハイ予選

団体組手 1回戦 1-4 太 東

新人大会

団体組手 1回戦 2-3 太 田

個人組手(重量級) 御供大剛龍 準優勝

個人形 御供大剛龍 ベスト16

## ■ 水泳部

関東高校水泳県予選

50m自 野口直央 7位  
100m自 野口直央 8位

100m背	三浦玲央	1位	個人 軽量級	和田智輝	第3位
200m背	三浦玲央	1位	"	福田光治	第3位
100m平	斎藤 翼	6位	インターハイ予選(柔道)		
100mバ	金 直輝	3位	団体 2回戦	4-0 樹 徳	
200mバ	金 直輝	1位	準々決	0-2 桐 一	ベスト8
400mR	金、野口、大串、三浦	2位	個人 60kg級	和田智輝	ベスト8
800mR	三浦、金、野口、大串	2位	100kg級	湯本祥伍	第3位
400mメR	三浦、斎藤、金、野口	1位	100kg超級	稲村幸則	第3位
		総合3位	一橋大学有備館杯柔道大会		
関東高校水泳競技大会			団体 予選リーグ	3-2 都立駒場(東京)	
100m背	三浦玲央	2位	5-0 開智(埼玉)		
		(全国大会出場)	準決勝	4-0 桐光(神奈川)	
200m背	三浦玲央	5位	決勝	3-0 千葉(千葉)	優勝
		(全国大会出場)	群馬県強化選手選考会(柔道)		
400mメR	三浦、斎藤、金、野口	19位	個人 73kg級	福田光治	第4位
		(全国大会出場)	100kg級	角田壮琉	優勝
日本高校選手権水泳競技大会(インターハイ)			"	見友詞勝	第4位
100m背	三浦玲央	4位	100kg超級	稲村幸則	第4位
群馬県高校総体			新人大会		
(得点はR2年度県総体分として加点)			《柔道競技》		
100m背	三浦玲央	1位	団体 1回戦	4-1 渋 川	
200m背	三浦玲央	1位	2回戦	2-1 育 英	
100m平	斎藤 翼	3位	準決勝	0-4 常 磐	
100mバ	金 直輝	1位	3位決	0-1 桐 一	第4位
200mバ	金 直輝	1位	《相撲競技》		
400mR	金、野口、大串、三浦	2位	団体 予選リーグ	2-1 太 工	
800mR	三浦、金、野口、大串	3位	3-0 青 翠		優勝
400mメR	三浦、斎藤、金、野口	1位	個人 軽量級	福田光治	優勝
		総合3位	"	池田陽大	第3位
新人大会			重量級	オゾエメナイケンナ大樹	優勝
50mバ	渡辺敬斗	4位	無差別級	見友詞勝	優勝
200m個メ	大串知寛	1位	"	角田壮琉	第3位
200mメR	大串、高橋、昆野、渡辺	3位	"	稲村幸則	第3位
第74回国民体育大会水泳競技大会			全国選手権予選(柔道)		
200m背	三浦玲央	3位	団体 2回戦	○-x 樹 徳(4人残し)	
200mバ	金 直輝	出場	3回戦	x-○ 育 英(2人残し)	ベスト8
関東大会			個人 81kg級	オゾエメナイケンナ大樹	ベスト8
《柔道競技》			東北大学青葉杯柔道大会		
団体トーナメント1回戦			団体 予選リーグ	x-x 山形南(山形)	
1-2 水戸工(茨城)			○-x 会津(福島)5人残し		
《相撲競技》			○-x 仙台三(宮城)4人残し		
団体 予選リーグ	3-2 安房(千葉)		○-x 川越(埼玉)5人残し		
1-4 慶應(神奈川)			決勝トーナメント1回戦		
3-2 明大中野(東京)			○-x 気仙沼(宮城)4人残し		
団体 決勝トーナメント1回戦			決勝	○-x 千葉(千葉)2人残し	優勝
0-5 東洋大牛久(茨城)			慶應大学杯争奪柔道大会		
ベスト16			個人 81kg級	福田光治	ベスト8

## 東京大学七徳杯高校招待柔道大会

団体 予選リーグ 5-0 麻布(東京)  
5-0 浜松北(静岡)

## 団体決勝トーナメント

1回戦 5-0 逗子開成(神奈川)  
準決勝 3-0 千葉(千葉)  
決勝 4-0 浦和(埼玉) 優勝

## ■ ソフトテニス部

## 群馬県高等学校ソフトテニス選手権大会

団体 3-0 桐生  
1-2 健大高 2回戦敗退

## 群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会

個人 シングルス 田村 ベスト16  
団体 3-0 安総合  
1-2 沼田 ベスト16

## 群馬県高等学校新人ソフトテニス大会

団体 3-0 前工  
2-0 前橋  
0-2 前商 ベスト8

第74回国民体育大会ソフトテニス競技少年男子  
群馬県チーム 百澤 第4位

## ■ ラグビー部

## 7人制大会

1回戦 50- 0 伊勢崎  
2回戦 14- 20 高商

## 1年生大会(高崎・渋川・渋工・高商合同チーム)

1回戦 0- 67 合同A  
(前橋・前工・育英・興陽・伊勢崎)

5位決 19- 12 合同B  
(桐生・樹徳・桐西・太田)

## 群馬県選手権大会(全国大会県予選)

2回戦 27- 5 育英  
準々決 5- 84 農二 ベスト8

## 新人大会(高崎・高商合同チーム)

1回戦 - 渋工(15人揃わず棄権)

## ■ 軟式野球部

## 第67回春季関東(東京都)

1回戦 6- 2 千葉商大付(千葉B)  
(一本杉公園野球場)

2回戦 2- 4 駒場東邦(東京A)  
(立川公園野球場)

## 第64回全国選手権北関東県予選

2回戦 1- 0 桐工(桐生球場)  
準決勝 4- 2 高工(桐生球場)

決勝 1- 4 高商(桐生球場)

## 第60回秋季関東県予選

1回戦 10- 0 館林(6回コールド)  
(金古運動広場軟式野球場)

2回戦 8- 0 前工(7回コールド)  
(金古運動広場軟式野球場)

準決勝 3- 1 高商  
(西毛総合運動公園野球場)

## ■ 剣道部

## インターハイ予選

団体 2回戦 2-0 勢農  
3回戦 2-1 高商 ベスト8

## 選手権大会

団体 2回戦 0-3 前橋

## 学年別大会(個人戦)

1年生 角野 ベスト16

## 新人大会

団体 2回戦 4-0 前西  
3回戦 0-3 前橋 ベスト16

## ■ 山岳部

## 第50回新人登山大会

個人 榎本慧 第2位

## 第63回関東高等学校登山大会

(群馬県/鹿俣山・上州武尊山・尾瀬アヤメ平)

出場

## ■ 陸上競技部

## 関東高等学校陸上競技大会(茨城笠松)

100m 井上直紀 決2位  
(全国大会出場)

800m 長谷川匠 予組5位  
3000mSC 中林俊 決8位

走高跳 大平海史 決1位  
(全国大会出場)

4×100mR 桑原、黒木、唐澤、松崎 予組8位

群馬県選手権大会(前橋)  
100m 井上直紀 決2位  
(関東大会出場)

3000mSC 中林俊 決4位  
(関東大会出場)

## 全国高等学校総合体育大会(沖縄IH)

走高跳 大平海史 決4位

県高校学校対抗(伊勢崎)  
100m 井上直紀 決4位

400m 唐澤祐伍 決5位  
800m 長谷川匠 決5位

1500m 長谷川匠 決2位  
〃 堀口花道 決4位

5000m 堀口花道 決5位  
400mH 松崎世夏 決6位

3000mSC 中林俊 決7位  
5000mW 石塚健 決2位

走高跳 大平海史 決1位  
三段跳 小山俊平 決6位

〃 黒木暉太 決6位  
4×100mR 桑原、黒木、松崎、井上 決8位

4×400mR 桑原、唐澤、松崎、田村 決5位  
男子総合成績(一部校12校中) 第5位

県高校新人(前橋)  
5000mW 石塚健 決1位

三段跳 黒木暉太 決2位  
1500m 長谷川匠 決1位

3000mSC 松井暉佑 決4位  
400mH 松崎世夏 決7位

関東高校選抜新人(千葉)  
5000mW 石塚健 決1位

三段跳 黒木暉太 決2位  
1500m 長谷川匠 決1位

県高校駅伝  
(伊勢崎市陸上競技場周回コース) 総合成績 第7位

県高校新人駅伝  
(正田醤油スタジアム群馬周回コース) 総合成績 第4位

## ■ サッカー部

## インターハイ予選

2回戦 4-1 利商  
3回戦 1-0 市前

準々決 0-7 育英 ベスト16

## 高校サッカーリーグ県予選 決勝トーナメント

1回戦 5-0 高東  
2回戦 0-2 伊商 ベスト16

新人大会  
1回戦 4-1 桐生  
2回戦 0-1 利商 ベスト32

## ■ 卓球部

インターハイ予選  
団体 1回戦 3-2 前工  
2回戦 3-2 農二

3回戦 0-3 樹徳 ベスト16  
新人大会  
団体 1回戦 3-1 市前橋  
2回戦 0-3 前東

## ■ バドミントン部

インターハイ予選  
団体 2回戦 3-1 前商  
3回戦 2-3 中央中等 ベスト16

国体予選  
個人 シングルス 1名 ベスト8

新人大会  
団体 2回戦 1-3 伊工

## ■ バスケットボール部

インターハイ予選  
1回戦 104- 50 清明  
2回戦 109- 54 前工

3回戦 81- 71 労農  
準々決 77- 99 新島 ベスト8  
全国選手権県予選  
4回戦 69- 70 利商

新人大会  
2回戦 92- 70 健大高  
3回戦 86- 54 市前橋

4回戦 105- 33 利商  
準々決 66- 87 新島  
5・7位決 84- 95 高商  
7位決 63- 84 桐一 第8位

## ■ テニス部

インターハイ予選  
個人 ダブルス 王・丸橋 ベスト16  
団体 0-3 共愛 ベスト16

新人大会  
団体 4-1 桐南  
0-3 太田 ベスト16

## ■ スキー・スケート部

SL・GS 堀越獎平 関東大会出場

## ■ 弓道部

インターハイ予選  
団体 40射15中 予選敗退

西毛地区大会  
団体 Aチーム 36射17中 第4位  
Bチーム 36射12中 ベスト8

個人 上村優介 8射5中 第2位  
新人大会  
団体 Aチーム 24射8中 予選敗退  
Bチーム 48射23中 第7位

東日本予選  
団体 24射9中 予選敗退  
春季大会 中止



高崎高校 陸上競技部OB会 会長 甲斐 俊輔 (87期)

陸上競技部OB会ホームページ

<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

## 翠巒体育会役員名簿

(令和2.7.20)

役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名	役職	氏名	期	運動部名
会長	大田部 功	85	ラグビー	理 事	塚越 英男	91	剣道	理 事	小林 均	77	硬式野球
副会長	山岸 祐二	79	水泳	萩原 克明	93	"	柔道	〃	堀込 貴	84	"
清水 威	85	硬式野球	鳥居 吉二	73	陸上競技	〃	赤澤 正喜	84	硬式野球		
橋爪 洋介	85	卓球	石橋 修	90	"	道	北嶋 聰二	87	バスケットボール		
仲澤 賢一	86	バスケットボール	足立 晋	96	"	陸上競技	鈴木 徹也	88	"		
滝野 修司	86	剣道	中山 拓紀	102	"	柔道	小澤 朋克	99	"		
甲斐 俊輔	87	陸上競技	今村 孝之	80	ラグビー	児島健太郎	100	"			
根岸 強	87	サッカー	黒石 康暢	81	"		松本 基志	77	山岳		
小林 優介	103	ソフトテニス	表野 真摶	83	"		須川 光一	79	"		
(会計編集委員) 吉井 章一	78	山岳	黒田 和宏	99	水泳		齋藤 英敏	83	テニス		
(編集局長) 志田 登	82	柔道	永尾 俊弘	70	"		長谷川泰三	83	"		
(編集委員) 北村 真行	85	テニス	斎藤 全賢	75	"		松本 潔志	85	"		
(事務局) 櫻井 健一	87	応援	伊藤 祐司	75	"		神保 裕之	83	スキー・スケート		
(事務局) 坂本 弘	87	バレーボール	須藤 聰	78	"		佐藤 雄一	86	"		
(事務局) 井野 周平	91	ラグビー	羽鳥 広平	104	卓球		沼野 藤雅	89	"		
(事務局) 横田 裕正	92	スキー・スケート	高橋 秀仁	107	"		芳賀 弘幸	81	ラグビー		
監査 波多野重雄	77	陸上競技	石田 和久	75	ソフトテニス		茂原 賢三	89	陸上競技		
顧問 波潟憲昭	81	バレーボール	深堀 将平	111	"		伊藤俊一郎	92	柔道		
國峯善次郎	50	サッカー	新島 拓哉	111	"		武山 雄海	102	バレーボール		
岩田 武雄	53	バスケットボール	富田 和弘	85	応援		清水 健一	104	ソフトテニス		
山口 正敏	58	卓球	佐藤 英樹	92	"		編集委員 提箸 宏	74	サッカー		
高橋 浩生	78	バレーボール	武藤 靖秀	106	"		新藤 洋一	81	水泳		
理事(情報部長) 堤 康高	71	卓球	遠山 昇	79	サッカー		藤井 正弘	81	応援		
(会計) 清水 元	91	硬式野球	安藤 英彦	86	"		戸澤 健	92	硬式野球		
理事 事原 到	78	バレーボール	佐藤 雄一	97	"		寺澤 佑介	95	スキー・スケート		
高橋 孝史	97	"	高山 雄介	100	"		角岡 大悟	96	剣道		

## 学校側顧問

校教事務事務	長頭長動部長	加藤 聰 田中 幸雄
	運動部長	浅岡 守 新井 康司
	事務局	柴山 俊広
硬式野球	大隅 昭彦・井田 郁浩・今井 健太・稻木 啓人	
ラグビー	皿山 優義・反町 豊	
サッカー	吉田 卓弥・徳光 尚之・渡辺 彰	
陸上競	新井 康司・工藤 洋平・北爪 紀枝	
水泳	山田 敏行・渡辺 彰・中嶋 英彦	
山岳	井上 貴智・國富 充敏・鈴木 幸英	
応援	竹内 聰・岡田 一郎・西村 淳也	
ソフトテニス	菊池 将史・徳光 尚之・田中 みゆき	
テニス	高橋 建次・中川 浩之	
スキー・スケート	一場 尚子・小島 敦子	
バスケットボール	渡部 健一郎・川田 亮一	
バレーボール	柴山 俊広・鈴木 崇元	
卓球	須田 韶二・長谷川 忠史・中島 康彦	
剣道	木村 拓哉・國富 充敏	
柔道	大隅 直樹・川田 智広	
弓道	池永 真孝・森戸 麻子	
空手道	遠山 聰・小島 敦子	
軟式野球	田島 悅男・大久保 泰希・藤生 揚亮	
バドミントン	飯塚 勇一・鈴木 幸英	



## OB会長名簿

OB会名	会長氏名	期
柔道部OB会	鳥居 吉二	73
ソフトテニス部OB会	田口 恵一	74
サッカーチームOB会	清野 哲雄	74
硬式野球部OB会	清水 正郎	75
山岳部OB会	松本 基志	77
水泳部OB会	島崎 秀明	77
剣道部OB会	小池 政一	77
バレーボール部OB会	原 到	78
ラグビーチームOB会	今村 孝之	80
テニス部OB会	林 正和	81
スキー・スケート部OB会	神保 裕之	83
応援部OB会	富田 和弘	85
卓球部OB会	橋爪 洋介	85
バスケットボール部OB会	仲澤 賢一	86
陸上競技部OB会	甲斐 俊輔	87

〔高橋・卓球部・107期〕

『翠巒体育』39号をお届けします。今号の発行にあたり、寄稿してくださった皆様に心より感謝申し上げます。今回は新型コロナウイルスの影響で編集会議を対面ではなくメールで行うという異例の事態となりましたが、休刊とならず発行できることを大変嬉しく思います。

さて、私が高高現役生の時は、まさか将来翠巒体育会に関わることになるとは思っていませんでした。また、社会人になって

も卓球を続けているとは全く考えていませんでした。群馬で働いていることもあまり想像しておりませんでした。

ここ数年間、翠巒体育会の役員や編集委員をやらせていただく中で、卓球部だけでなく他の部のOBの方とお会いしてお話を伺う機会が何度かありました。様々な属性をもつ方たちとお話ができる、良い意味で刺激を受けることができました。今後もできる限り翠巒体育会に協力し、人の出会いを大切にしていきたいと思います。